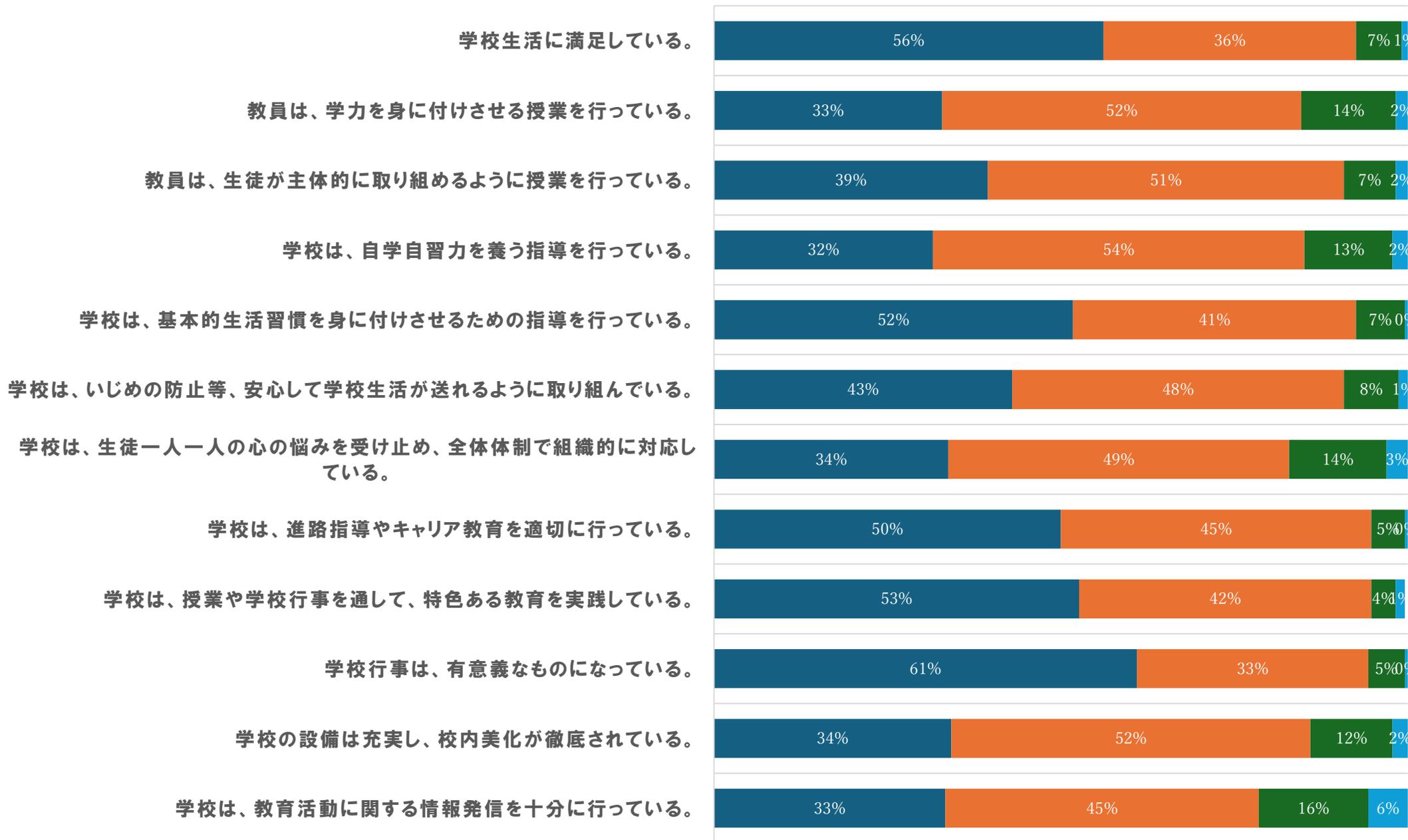


令和7年度 九段中等教育学校 学校評価アンケート(4・5年 生徒228名)

回収率 76.5%

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



令和7年度 学校評価アンケート結果報告書（後期課程生徒4・5年生）

1 調査結果の概要

(1) 学校生活満足度

「学校生活に満足している」と回答した生徒は92%にのぼり、多くの生徒が学校生活を肯定的に捉えていることが分かった。

(2) 学習指導・授業改善

「基本的な生活習慣の指導」については93%が肯定的であり、生活面の指導が生徒に浸透していることが確認できる。

「自学自習力の育成」では86%が肯定的であるものの、「そう思う」の割合が比較的lowく、今後の重点課題として位置づけられる。

「主体的に取り組める授業」については90%、「学力を身に付けさせる授業」については85%が肯定的であり、授業全体への評価は概ね良好である。ただし、授業改善の余地が残されていることも示唆される。

(3) 生徒支援・安心安全

「心の悩みへの対応」については83%が肯定的であり、一定の信頼が寄せられているものの、より相談しやすい体制づくりが求められる結果となった。

「いじめ防止の取り組み」については91%が肯定的で、生徒が安心して学校生活を送るための取り組みが評価されている。

(4) 教育活動・学校行事

「学校行事が有意義である」との回答は94%に達し、行事が生徒にとって充実した経験となっていることが示された。また、「特色ある教育を実践している」という項目でも95%が肯定的であり、本校の教育活動が生徒に広く受け入れられていることが分かる。

(5) 学校運営・環境

「教育活動に関する情報発信」については、肯定的な回答（「そう思う」「ややそう思う」）が78%となり、多くの生徒が一定の評価を示している。一方で、より分かりやすく、タイムリーな情報提供を求める声も読み取れる。

「学校設備の充実や校内美化」については肯定的回答が86%と高く、校内環境が良好に維持されていることがうかがえる。

2 総合的なまとめ

今回のアンケート結果から、学校行事や特色ある教育活動、校内環境、いじめ防止の取り組みなど、多くの面で高い評価が得られていることが明らかとなった。一方で、情報発信の工夫、自学自習力の育成、相談体制のさらなる充実など、改善が求められる点も示された。

3 今後の改善方針

1. 情報発信の強化

学校ホームページやツムギノを活用し、情報の整理・迅速化を図る。

2. 相談体制の充実

相談窓口の周知、スクールカウンセラーの活用、教職員の連携強化を進める。

3. 自学自習力の育成支援

学習計画指導、学習支援プログラムの充実を検討する。

4. 授業改善の継続的推進

生徒の主体性を引き出す授業づくりを教員間で共有し、授業力向上に努める。

4 おわりに

本アンケートは、生徒の率直な意見を把握する貴重な機会である。今後も生徒の声を教育活動に反映し、より良い学校づくりを進めていく。